

作成者：島田 園子

作成日：2021年9月9日

皆様、初めまして。この度、2021年度福井県奨学生としてフィンドレー大学に留学させていただいております、島田園子と申します。福井県奨学生としてこのような素晴らしい留学の機会を頂けたことを心から感謝しております。日々進歩していけるよう、精一杯努力して参りたいと思います。

【フィンドレー大学での授業】

私が現在受講している授業は、英語（writing）、演劇の授業3つ（acting, directing, theater literature）、コーラス、元気キッズ（現地の小学生に日本文化を伝える授業）です。これらの授業はいずれもマスクを着用しながらの対面授業です。

演劇はアメリカでとてもポピュラーな分野で、演劇を主専攻（major）や副専攻（minor）とする学生が多く、私が受講しているクラスにも様々な専攻の学生が集まっています。フィンドレー大学内には劇場があり、年に4回、学生による演劇やミュージカルが上演されます。actingの授業では、実際の脚本を演じながら、役者に求められる知識や技術を学んでいます。directingとtheater literatureの授業は先生を含め4人という少人数の授業で、一つの机を囲んでディスカッションをしています。directingの授業では、ロシアの劇作家であるチェーホフの“The Sea-Gull”という脚本の読解を通して、物語の時代背景や当時の生活様式などを調べながら人物像を少しずつ具体化し、演出の方向性を考察しています。theater literatureの授業では、ギリシア悲劇から中世に至る様々な脚本を読み、プレゼンテーションをしながら当時の演劇の特徴や変遷を学んでいます。演劇の授業にはいつも新たな発見があり、非常に興味深く感じています。

やはり先生や現地の学生が話す英語のスピードに苦戦していますが、事前に予習をしっかりしていくことで乗り切っています。

授業中の発言はまだまだ足りないので、これから発言の機会を増やしていきたいと思っています。



【フィンドレーの生活】

フィンドレーに来て驚いたことは、町がとても緑豊かであることです。大学周辺には、私たち学生が住むシェアハウスと一般の住宅が混在していますが、どの家も広い庭を持ち、大きな木がいたるところに茂り、リスが走り回っています。庭先には小さなテーブルや椅子が置かれ、気持ちの良い午後にのんびりとくつろいでいる人を見かけます。



まるで絵本の中の世界のように、私もとてもリラックスして生活しています。

私はシェアハウスに住んでおり、同じ奨学生である古市さんの他にアメリカ人の学生 2 人と共同生活をしています。一緒に住んでいると、食事や趣味など様々な文化の違いがくっきり見えて面白いです。すっかり影響されて、巨大なオーブンで甘いブラウニーを焼いたら皆喜んで食べてくれました。

8月は夜9時頃まで日が暮れず、古市さんと一緒に大学の庭の一面でアメリカの国歌の練習をしたこともありました。

9月になり少しずつ肌寒くなってきました。感染に気を付けながら、これからも努力を続け、色々なことに挑戦していきたいと思います。

本報告書について質問、感想等ございましたら以下のメールアドレスまでご連絡ください。

shimadas1@findlay.edu